

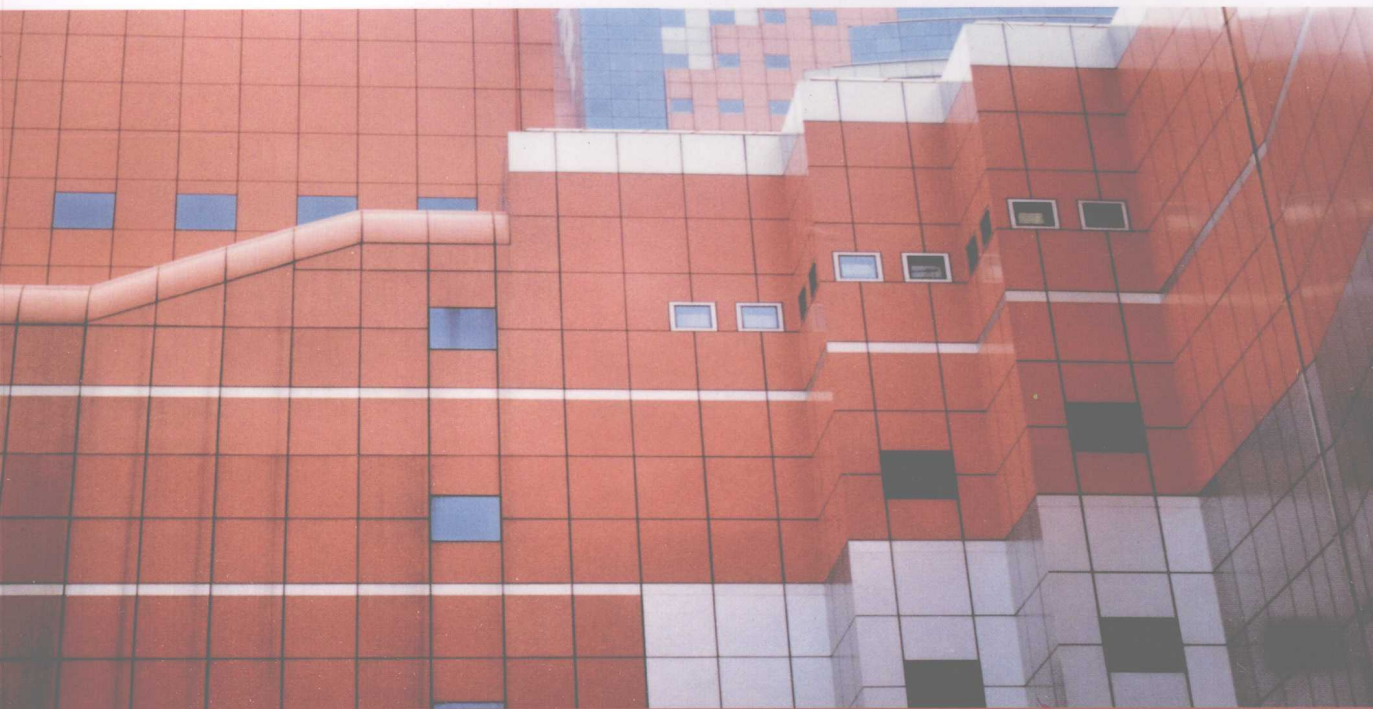
高职高专“十一五”规划教材



現代ビジネス総合日本語

当代商务日语

综合教程 4 中级下 学生用书



总主编 徐曙

本册主编 王锐 周晓杰



华东师范大学出版社

高职高专“十一五”规划教材

現代ビジネス総合日本語 4

当代商务日语

综合教程 ④

中 级 下
学 生 用 书

总 主 编 徐 曙

本册主编 王 锐 周晓杰

编 者 王 锐 周晓杰 曹铁英 王 萌 陈月琼

华东师范大学出版社

图书在版编目(CIP)数据

当代商务日语综合教程: 中级下/王锐 周晓杰主编.
—上海: 华东师范大学出版社, 2009
高职高专“十一五”规划教材
ISBN 978-7-5617-6966-9

I. 当… II. ①王… ②周… III. 商务—日语—高等学校:
技术学校—教材 IV. H36

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2009)第 031828 号

高职高专“十一五”规划教材

当代商务日语综合教程 中级下

总 主 编 徐 曙
本册主编 王 锐 周晓杰
责任编辑 李恒平 孔 凡
审读编辑 孔 凡
责任校对 朱 芬

出版发行 华东师范大学出版社
社 址 上海市中山北路 3663 号 邮编 200062
电话总机 021-62450163 转各部门 行政传真 021-62572105
客服电话 021-62865537(兼传真)
门市(邮购)电话 021-62869887
门市地址 上海市中山北路 3663 号华东师范大学校内先锋路口
网 址 www.ecnupress.com.cn

印 刷 者 崇明裕安印刷厂
开 本 787×1092 16 开
印 张 16.25
字 数 251 千字
版 次 2009 年 6 月第一版
印 次 2009 年 6 月第一次
书 号 ISBN 978-7-5617-6966-9/H·438
定 价 39.80 元(含盘)

出 版 人 朱杰人

(如发现本版图书有印订质量问题,请寄回本社客服中心调换或电话 021-62865537 联系)

前 言

近年来,我国高等职业教育迎来了全新的发展机遇。在高等职业教育中,外语教学的重要性非常明显,社会及市场对高职学生的外语要求趋向于实用化和多样化。随着我国与日本经贸关系的不断发展,社会上对日语不同层次人才的需求大大增加。这种人才需求的变化,自然要求人才培养模式的改革,也需要我们顺应人才培养模式的变化编写新型教材。然而,当前真正为高职高专院校量身定做的日语教材却难以寻觅,大多数院校无奈之下或使用本科院校教材或使用社会业余学习所用教材。为此,我们在广泛、认真听取全国诸多高职高专院校师生意见后,决定整合精干专业人才资源,编写一套为高职高专院校日语专业量身定做的日语教材。

本系列教材由综合教程与听说教程两套教材构成,其编写思路是:在培养学生职业日语应用能力方面有所创新;在难度与分量上有所控制;在素材上有时代感、实用性和趣味性;适当增加听说技能训练的比重;教材与日本语能力考试密切结合,同时兼顾其他各类日语考试。

教材特色

1. 注重语言基本功培养

- 充分体现高职高专日语专业的教学目标,既强调打好基础,又重视语言运用能力的培养;既考虑教材的实用性,也考虑职业素质教育的需要。

- 根据编者在第一线积累的教学经验,教材力求循序渐进,由易到难,充分考虑学习者的认知水平和日语语言的习得规律。

- 体现听、说、读、写综合发展方向,突出实际“语言技能”的培养。

2. 富有时代特色

- 教材风格严谨而不失轻松,内容贴近学生生活及专业特点,能激发学生的学习兴趣。

- 充分吸收应用语言学的最新研究成果,力求做到内容新、结构新、设计新。

- 课文及会话力求语言自然流畅,语法用例准确可靠。
 - 既注重日语语言知识的学习及语言运用能力的培养,还注重日本社会、文化背景的介绍,同时考虑构建国际文化的大视野。
3. 充分考虑高职教学的实际需要
- 注意与日本语能力考试的衔接,同时考虑与其他各类日语考试的关联。
 - 充分利用现代化教育技术手段,配套制作多媒体课件,使教材做到立体化,既方便课堂教学,又方便学习者自主学习。

教材构成

本系列教材共两套 14 册,构成如下:

《商务日语综合教程》(初级上、下 2 册;中级上、下 2 册),共 4 册。

《商务日语综合教程教学参考书》(初、中级各 1 册),共 2 册。

《商务日语听说教程》(初级上、下 2 册;中级上、下 2 册),共 4 册。

《商务日语听说教程教学参考书》(初、中级各 2 册),共 4 册。

《商务日语综合教程》每册由 20 课构成,参考教学时数为 140 学时。

《商务日语听说教程》每册由 15 课构成,参考教学时数为 90 学时。

《综合教程》每课由课文、会话、生词、语法解释、注释、练习以及课后日语小知识构成。课文由 2 部分构成。第一部分为一篇短文,其中包括本课学习的重点;第二部分为与短文内容密切相关的会话。课文与会话题材广泛,既有反映日本学校生活和时代脉搏的话题,也有日本传统文化的有关信息;既有年轻人感兴趣的话题,也有内涵丰富的短文佳作。课文和会话短小精悍,语法解释简明扼要,练习紧紧围绕打好语言基础、提高运用能力这一教学目标和贯穿语言技能训练这一主线来精心安排。

《听说教程》是与《综合教程》相辅相成的、重点训练语言应用技能的实践性教程。该教材打破了以往听说分离的课程设置及分别使用不同的听力与会话教材的不合理安排,直接将语言的理解与生成统合在同一门课程、同一册教材、同一课堂中。这样的教材设计效果在本系列教材的总主编先前编写的听说教材上得到了很好的反馈。

《听说教程》每课由 4 个 Part 及表达形式小知识构成。

Part 1 分为听说基础训练及听功能会话进行复述两个部分。要求学生通过听力及口头练习进一步巩固语法项目,掌握功能表达方式,提高听说技能。

Part 2 分为听录音选择正确答案和会话训练两个部分。听录音选择正确答案完全以日语能力考试题型为主,插图题和听力题并用。会话训练部分给出适当的提示句、词,让学习者熟练运用本课所学内容来运用(变换)各种表达方式,提高表述能力。

Part 3 为综合会话练习。通过听、读、写,熟练掌握所学知识,通过场景对话巩固学习的知识点,了解日语相关知识。

Part 4 安排一个短文。每个短文围绕中心主题与语法条目展开,让学习者通过短篇掌握日语自然结构,并了解一定的日语背景知识。

每课末的表达形式小知识主要给学习者提供日语的相关小知识,不做硬性掌握的要求。为学习者提供学习日语的兴趣点及商务日语的一些基本常识。

编写系列教材是一项系统工程,个中艰辛非亲身经历者无法体会。虽然我们已竭尽全力,企望编写出令教师和学生都满意的优质教材,但不尽如人意之处恐仍难免。好在优质教材本来就是由编写者与使用者共同创作的。衷心希望使用本套教材的教师与学生不吝指正,以便不断修订完善。

《商务日语》系列教材编写委员会

2008年8月

编者说明

本教材的教学目标：

- 帮助高职、高专日语专业以及成人日语学习者提高日语基础的中级教材
- 学习日语中级的常用单词和句型表达
- 通过语言技能训练,提高实际运用能力

本教材的结构：

- 本教材由 20 课组成,最后附有总单词表
- 总单词表中列出本教材所有出现单词,并在单词后用数字表明课别。
如:22-1 表示出现在第 22 课单词表 1

21—40 课每课的构成：

- 导入
提 2 个有关全文主旨或大意理解的问题,导出本课主要阐述内容。
- 本文
本册的本文部分大多选自日本原版文章,选材力争做到突出商务日语特色。
- 会话
该部分作为“本文”的补充,主要围绕“本文”所阐述的内容进行实际对话,以学习一些主要出现在会话中的单词和语法现象、功能表达等。
- 单词 1
按照在课文中出现的顺序,列出本课所有单词。单词表从左到右的顺序为:读音、音调、日本汉字写法、词性、中文对译词。表示词性的略语如下:

名……名词	代……代词	专……专有名词
副……副词	接……接续词	感……感叹词
形……形容词	形动……形容动词	连体……连体词
自五……五段自动词	他五……五段他动词	自一……一段自动词
他一……一段他动词	自サ……サ变自动词	他サ……サ变他动词
力变……力变动词	量……量词	助动……助动词
寒暄……寒暄语	词组……词组	惯用……惯用语
接尾……接尾词		

- 注释

对一些专用名词或日本社会现象进行注释说明。

- 单词用法

重点对一些副词、接续词和动词等的用法进行具体说明。

- 表达与句型

主要整理了每课的重点句型,也包括一些助词等的用法。每个语法点都附有几个典型例句,说明时尽量做到通俗易懂,避免很强的理论性叙述。

- 练习

围绕打好语言基础、提高运用能力这个中心任务,采用多样形式,针对各课语法点及单词用法进行语言技能训练,以达到能灵活运用效果。

- 单词 2

出现在语法、单词用法、练习中的生词。编写方式同单词 1。

本教材与《商务日语听说教程》配套,相辅相成,系统性强,一并使用,可望获得更好的教学效果。希望本套教材能成为广大日语学习者的良师益友。

编 者

2009 年 3 月

目 录

第 21 課	運転免許	1
第 22 課	不況	13
	満員電車で	15
第 23 課	日本人の国際感覚	25
第 24 課	臓器移植	36
	骨髄性白血病	37
第 25 課	睡眠	47
第 26 課	オジサン	61
第 27 課	老後の生活	74
第 28 課	社員食堂	86
第 29 課	日本人と宗教	97
第 30 課	海外から見た日本人	109
第 31 課	長寿国にふさわしい社会	120
第 32 課	4つ目のR.....	131
第 33 課	食生活を見直そう	143
	子供はどこで遊んでいるのか	144
第 34 課	笑顔	154
第 35 課	働く犬	167
第 36 課	飽食の日本	179
第 37 課	コミュニケーション・スタイル	190
第 38 課	日本式ビジネス交渉術	199
第 39 課	社内文書	210
第 40 課	これからの日本企業	221
附录	单词总表	232

第 21 課 運転免許



導入

- 筆者は若い時に、なぜ運転免許を取らなかったのですか。
- 筆者は知り合いのどんな経験談を聞きましたか。

本文



私は運転免許を持っていない。ほとんどの人は学生時代にとってしまうのだろうが、当時は車が必要だと思っていなかった。もともと車が好きではないので、免許を取るなどという考えはまったくなかったのであった。

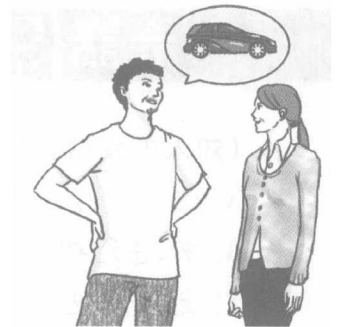
ところが最近、免許はあったほうがいいかなと考えている。これから年をとっていくにつれ、もしかしたら必需品になるのではとすら思うようになったからだ。

たとえば出先で買い物をすると、荷物が多くなるときがある。私の場合はほとんどが本なのだが、そんなときに、

「ああ、車があったらなあ」

とため息をつく。もちろんタクシーは走ってはいるが、うまくつかまらずに町なかをタクシーを求めてさまよい歩くこともある。重い荷物を持ち運ぶとなると、ほしい本も、次の機会にとあきらめざるをえない。こんなとき、自分の車があったらどれだけ楽かわからない。

知り合いには五十歳を過ぎて免許を取った男性たちがいる。彼らに免許の話を聞こうとすると、話が途切れることはない。苦勞して取ったので、その喜びはたとえようもないらしく、目が輝いている。



「運転はいいですよ。ぜひ取りなさい。私なんか週末、必ずドライブに行ってます」と勧められた。

「家には居場所がありませんからね。でも車の中は僕だけの個室だから。」

そういう考え方もあったのかと私はうなずいた。

もう一人は、無事に免許を取っても、最初は右折をするのがとても怖かったという。駐車をするにも、スペースがあるときは問題ないのだが、二台の車の間に駐車するとなると、舞い上がってしまうといていた。

免許を取った直後、彼は近所のスーパーマーケットに行こうと試みた。彼がまずやったのは、徒歩でその店まで行き、駐車場が空いているかを確認することだった。そして右折は怖いので、左折ばかりを繰り返し、ものすごく大回りをして店まで行ったというのである。

この話は笑い話として伝えられているのだが、もしも免許を取ったら、私もそういうことをやりかねない。最近では年配の人でも車を運転しているし、それを見ると自分もしてみたいくなる。しかし適性や事故を起こしたらなどと考えはじめると、便利だからという気持ちは、しゅーっとしぼんでいってしまい、いまひとつ教習所の門を叩くまでには至っていないのである。

会話



(知人の会話。A は女性、B は男性。)

A: このごろ、運転免許があつたらいいなと思いますね。

B: あ、まだ持っていないんですか。

A: ええ、もともと車が好きじゃないので、免許を取ろうなんて思わなかったんです、若い時は。

B: そうですね。免許は学生時代を取る人がほとんどでしょうね。

A: ええ。これまではあまり免許がなくて不便だと思わなかったんですけど。

B: このごろ、ないと不便だと思うんですか。

A: ええ、出先で買い物をして荷物が多くなった時なんか。

B: ああ、そうですか。でも、タクシーがあるでしょう？

A: ええ、タクシーは走ってはいますけど、うまくつかまらないことが多いくて。

B: そうですね。人が多い時や雨が降り出したときなんか、なかなかつかまらないんですね。

A: そういう時、自分の車があったらどれだけ楽かわからないと思いますね。

B: じゃ、ひとつ、教習所へ行って、習ったらどうですか。

A: ええ、そう思うこともあるんですけど、免許を取るにはずいぶん苦勞をしないとイケないんでしょう？

B: ええ、ある程度はね。わたしは学生時代に取ったので、あまり苦勞した記憶はないんですが。

A: もう年だし、適性もないし。

B: 適性なんて、やってみなければわかりませんよ。意外にあるかもしれません。

A: そうかもしれませんが、事故を起こしたらなんて思うと、勇気が出ませんね。

B: じゃ、荷物をもたない工夫をするんですね。

A: どんな工夫ですか。

B: 買ったものは全部配達を頼むんです。

A: それはいいですね。でも、人にもらったものなんか、どうでしょう。

B: 捨てるんですね。事故でけがをするよりいいじゃありませんか。



単語 I



めんきょ ①

【免許】

〈名・自サ〉 許可, 许可证, 执照

うんてんめんきょ ⑤ 【運転免許】

〈名〉

驾照

もともと ②

〈副〉

本来, 原来

とうじ ①

【当時】

〈名〉

当时

もしかしたら ①

〈副〉

说不定, 也许, 可能

でさき ③	【出先】	〈名〉	去处,去的地方
つかまる ①	【掴まる】	〈自五〉	抓住;握住;找到
たとえる ③	【喩える】	〈他一〉	比喻,比拟
さまよいあるく ⑥	【さ迷い歩く】	〈自五〉	彷徨,徘徊
もちほこぶ ④	【持ち運ぶ】	〈他五〉	挪动,搬运
どれだけ ①①		〈名・副〉	多少;多么
すすめる ①	【勧める】	〈他一〉	劝说,劝告
いばしょ ①	【居場所】	〈名〉	住处,(人呆的)地方
こしつ ①	【個室】	〈名〉	单间,单人房间
うなづく ③①		〈自五〉	点头,首肯,同意
うせつ ①	【右折】	〈名・自サ〉	向右拐,右转弯
ちゅうしゃ ①	【駐車】	〈名・自サ〉	(汽车)停车
スペース ②		〈名〉	空间,空地;空白
まいあがる ④	【舞い上がる】	〈自五〉	飞舞(极为紧张、困惑等感觉、心情)
ちょくご ①①	【直後】	〈名〉	刚……就,之后不久,紧接着
こころみる ④	【試みる】	〈他一〉	尝试,试一试
とほ ①	【徒歩】	〈名〉	步行,徒步
かくにん ①	【確認】	〈名・他サ〉	确认,证实
させつ ①	【左折】	〈名・自サ〉	向左拐,左转弯
おおまわり ③	【大回り】	〈名・自サ〉	绕远,绕大弯儿
わらいばなし ④	【笑い話】	〈名〉	笑话
もしも ①		〈副〉	如果,假使,万一
ねんぱい ①	【年配】	〈名〉	年纪大;年长
てきせい ①	【適性】	〈名〉	适于作某事的能力,适应性
しゅーっ ③		〈副〉	(气体喷出时的声音)刺
しぼむ ①	【凋む・萎む】	〈自五〉	枯萎,萎缩
いまひとつ ④	【今一つ】	〈副〉	只差一点点,还有不足之处
きょうしゅうじょ ①	【教習所】	〈名〉	汽车驾驶学校,驾校
もん ①	【門】	〈名〉	门,大门
たたく ②	【叩く】	〈他五〉	打,敲,拍

いたる ②	【至る】	〈自五〉	到, 达, 及, 到达
くふう ①	【工夫】	〈名・他サ〉	想办法, 千方百计; 办法

注釈



● 日本の交通規則

日本の交通規則では、自動車は左側通行、歩行者は右側通行で、信号機のない横断歩道などでは歩行者優先となっています。車やバイクを運転する場合は、左側通行に慣れるまで、特に交差点では注意してください。

運転席と助手席はシートベルトの着用が、また、6歳未満の子どもにはチャイルドシートの使用が義務づけられています。バイクに乗る時はヘルメットの着用が義務づけられています。

酒を飲んで運転することは全面的に禁止されており、違反すると、懲役や罰金刑、さらには免許の停止や取り消しなど、大変厳しい処分を受けます。軽い違反で、青い「反則切符」により告知された場合は、同時に渡される納付書により、告知された次の日から7日以内に指定された窓口で反則金を支払わなければなりません。

● 主な道路交通標識



駐車禁止



駐停車禁止



車両進入禁止



最高速度(km/時)



一時停止



指定方向外進入禁止

言葉の使い方



● もともと

「もともと車が好きではないので、免許を取るなどという考えはまったくなかったのだった。」

「もともと」表示事物的根本或根源，一般作谓语的修饰成分，将现在与过去本来的情形或状态相比较。有时也可以修饰名词，译成“本来”、“原来”。

- ・ もともと彼には責任を取る気はなかった。
- ・ もともと頭のいい子だから、そのうち自分の非に気づくだろう。

- ・あの人のもともとの考えは私のと対して違わなかったのだ。

● もしかしたら

「これから年をとっていくにつれ、もしかしたら必需品になるのではとすら思うようになったからだ。」

「もしかしたら」表示对可能性很小的事物的假设。作谓语的修饰成分,经常与「かもしれない」等表示推量的词语相呼应。另有「もしかすると」的说法,意思基本相同。

- ・もしかしたら、今日田中さんが来るかもしれません。
- ・もしかしたらあの議員、次の選挙で落ちるかもね。
- ・特等は無理でも、もしかしたら三等ぐらい当たるかと思って宝くじを買った。

● ため息をつく

「私の場合はほとんどが本なのだが、そんなときに、『ああ、車があったらなあ』とため息をつく。」

固定词组「ため息をつく」,表示担心、失望、感动等情况无意识发出的叹气声。

- ・ほっとして深いため息をつく。
- ・聞こえるような大きなため息をつく。
- ・収入が少ないのでいつになったら結婚できるだろうかと言って、二人はため息をついた。

● つかまる

「もちろんタクシーは走っているが、うまくつかまらずに町なかをタクシーを求めてさまよい歩くこともある。」

「つかまる」是自动词,有以下三种意义:(1) 被捉住,被逮住;(2) 扶住,抓住,揪住;(3) 找到。

- ・スピード違反でつかまった。
- ・強盗犯人がついに捕まったらしい。
- ・混んでいる電車に乗ったとき、転ばないようにすり革につかまっていた。
- ・社内中捜してもつかまらない。
- ・この時間はタクシーがなかなかつかまらない。

● 途切れる

「彼らに免許の話を聞こうとすると、話が途切れることはない。」

「途切れる」表示一直持续的状态一时中断。

- ・往来の足音が途切れる。
- ・昨夜は飲みすぎて途中で記憶が途切れている。

- ・彼の非難はとぎれることなく続いた。

● スペース

「駐車をするにも、スペースがあるときは問題ないのだが、二台の車の間に駐車するとなると、舞い上がってしまうといっていた。」

「スペース」表示规定范围之内的空间,也可以表示在印刷的纸面上的空白部分。

- ・建て増しするスペースがない。
- ・バスにはもう数人乗れるスペースがある。
- ・A4の用紙の天地左右に3 cmずつスペースをとる。

表現と文型



● どれだけ～かわからない

「こんなとき、自分の車があつたらどれだけ楽かわからない。」

「どれだけ」也可以替换成「どれほど」或「どんなに」,「かわからない」前面接用言终止形,也可用「か知らない」。译作“不知多么……”,表示感叹的语气。

- ・彼の思想からどんなに多くの人々が影響を受けたか分かりません。
- ・九死に一生を得た空海はどれだけ喜んだか分かりませんね。
- ・返事が来るまで、どんなに心配したか知らない。

● ～ようもない

「苦勞して取つたので、その喜びはたとえようもないらしく、目が輝いている。」

「～ようもない」接在动词连用形后面。「よう」表示方法,「～ようもない」意为:想做,但是没有办法做到。译作“无法……”、“不能……”。也使用「～ようがない」的形式。

- ・交通の便が悪いので、間に合いようもありません。
- ・あの人の住所も電話番号も分からないから、知らせようがない。
- ・子供が流されている。でも、川の流れが速くて、助けようがない。

● ～となると

「駐車をするにも、スペースがあるときは問題ないのだが、二台の車の間に駐車するとなると、舞い上がってしまうといっていた。」

「～となると」接在动词终止形或体言的后面,相当于「…ということになると」,「…のよな場合は」。这个句型带有一种阶段性的意思,即前项到了一个非同一般水平的程度。译作“提到……”、“说起……”。也有「～となれば」的形式。

- ・私立大学に入るとなると、ずっとお金がかかります。

- 新しい車を買うとなると、200 万円くらい必要だ。
- 社長がそう言っているとなれば、変更はほとんど不可能でしょう。

比较:「～という」と、「～といえば」表示提出一个话题然后叙述相关的事项,译作“说起……”、“提起……”。

- 医者というと(×となると)、息子さんも医学部志望でしたよね。
- 医者となると(○というと)、相当の学費を覚悟しなくてはなりませんね。

● まで

「…いまひとつ教習所の門を叩くまでには至っていないのである。」

副助词「まで」的用法很多,在此对「まで」的用法做一个小结:

(1) 表示所达到的程度较高。

- そこまで言う必要はない。
- あれほどまでしてがんばったのに…
- そんなにまでぼくのことを思ってくれるのか。
- 目が赤くなるまで泣いた。

(2) 表示举出一个极端事例,暗示一般情况更是如此。

- 君まで僕を疑うのか。
- 子供にまでばかにされる。
- 下級生にまで笑われた。
- 親にまで見限られるとは。

(3) 表示限定的范围。

- 電車がなければ、歩くまでだ。
- 気に入らなければ断るまでさ。
- 高ければ、買わないまでのことだ。
- 失敗したら逃げ出すまでのことだ。

(4) 以「までもない」的形式,表示没有必要做某事。

- そんなことは言うまでもない。
- 確かめるまでもなく明らかだ。
- 説明するまでもなく、これは偽物だ。
- この程度なら医者に行くまでのこともない。

(5) 以「までも」的形式,表示退一步考虑问题。

- 助けないまでも、嘲笑することはないだろう。
- 病院に行かないまでも見舞い状ぐらいは出しておこう。
- 絶対とは言わないまでも、成功する確率はかなり高いと思う。